

これまでの事業を見直したり、新しい事業を進めていくことは必要だとは思いますが、みんなの負担がさらに増え、不満につながってしまうのではないかと心配です。

アイデア紹介 **楽しくできることを見つけ、任せる**
～天間地区では、たまんじゅう創作研究会が始まりました。～

富士市立高等学校『究タイム市役所プラン』の提案が動き出しました

今年度の富士市立高校「究タイム市役所プラン」からは、高校生の感性を生かしたさまざまな提案が生まれました。天間地区を担当したグループでは、地区の特徴としている梅をPRする方法として、商品開発の提案をしました。その名も「たまんじゅう」。

提案をうけた天間地区では、「おもしろい!」と乗り気になり、さっそく地区の婦人部と栄養士の資格をもつ有志など9名が集まり、高校生と



一緒に試作品づくりにとりかかりました。高校生からのカレーやチーズなどの思いもよらない館のアイデアに、「最初は断るために」試作をしたところ、「案外イケる!」と取り入れることになりました。何度も試作し、生地にも工夫を重ねました。イメージどおりになかなかいかず、失敗の連続だったとか。しかし、苦勞の甲斐あって、なんとか完成にこぎつけました。この苦勞話は地区の話題となり、「たまんじゅう」は口コミで広まっていきました。



お披露目は地区の一大イベントである「天間梅まつり」で。口コミのおかげか、即時完売で大好評でした。当日は会場に市長も訪れ、高校生とともに発表を祝いました。



天間地区まちづくり行動計画にも「たまんじゅう創作研究会」が記載され、環境分野の『歴史文化に人が集う「梅の里」づくり』にむけた活動の一つとして位置付けられています。



しかし、商品としての品質や価格、パッケージなどまだ「名物」にしていくためには課題も山積み。今後は専門家の指導なども取り入れながら、地域の力を結集させて育てていく予定です。楽しくまちづくりの輪が広がっています。

各地区のまちづくり行動計画のパンフレットは3月末に配布される予定です。

まちづくりセンター長と地区担当班長の研修会を行いました まちづくりセンター長と地区担当班長の2回目の研修会を行いました。それぞれの地区における行動計画づくりの活用に向けて具体的なアイデアを出し合いながら話し合いました。**地区担当班も** 住民として地区活動への参加をさらに進めていくとともに、まちづくりセンターとの連携を深め、まちづくり行動計画の推進に積極的に参画していくことを確認しました。

ゴブタ^⑤ レポート

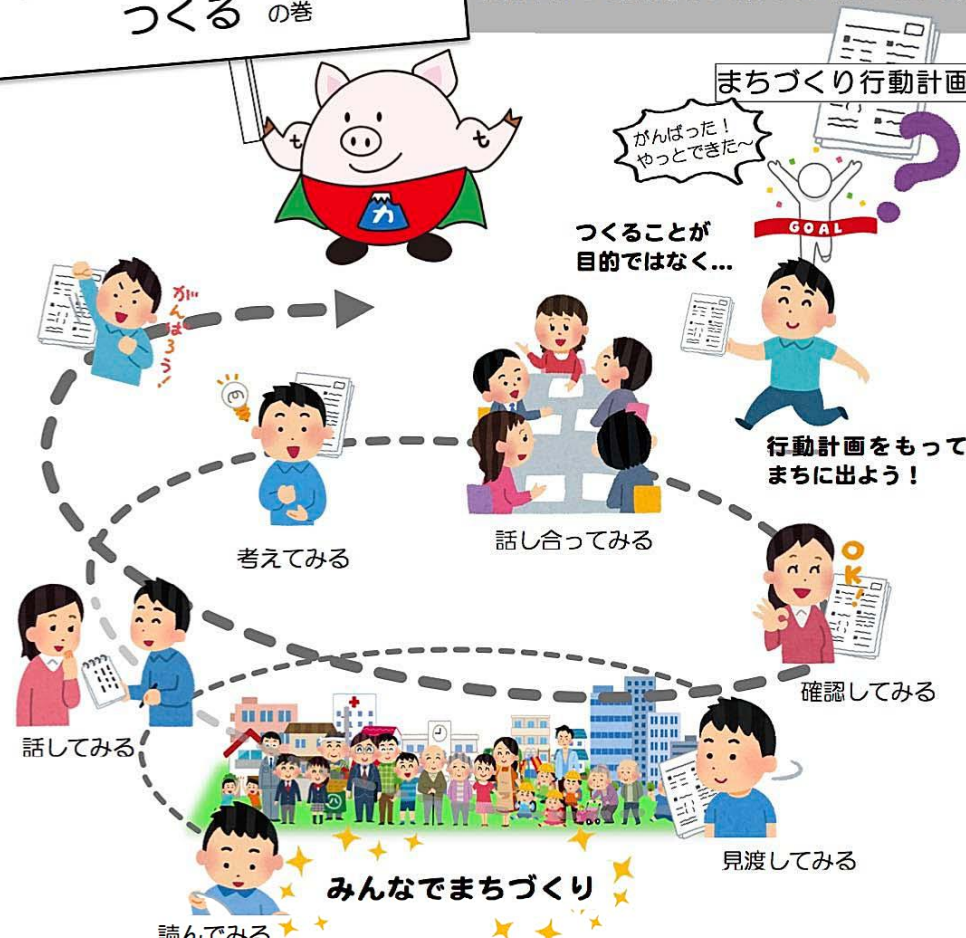
地域のかぶ増進計画・ニュースレター

KOBUTA REPORT

まちづくり行動計画をつくる の巻

発行 平成 28 年 3 月
発行者 富士市市民部まちづくり課
富士市永田町1丁目100番地(富士市役所3階)
電話 0545・55-2887
HP <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/>

2年にわたり取り組んできた「まちづくり行動計画」づくりも完成が近づき、ほっとしているところかもしれませんが、せっかくつくった計画も本棚に飾られてしまうだけになっては残念です。いつもみなさんのそばに置いて、時々中身をチェックしながら、これからも活動をすすめていきましょう。自分たちのまちの少し先の未来に向かって愛着をもって育てていきたいものです。



このニュースレターでは、今年度完成を目標に、各地区で進められているまちづくり行動計画づくりの様子をお知らせするほか、協議会を運営していくうえでの課題に対応したヒントなどもご紹介いたします。それぞれの地区のまちづくり行動計画づくりや協議会活動の活性化にぜひお役立てください。

みんなでまちづくりをすすめよう！

富士市内 26 地区のまちづくり行動計画が個性豊かに仕上がってきました。あなたの地区のこれからのまちづくりの羅針盤として、この計画をどのように知らせ、活用していくか、地区ならではの工夫してみてください。まちづくり協議会の活動はこれからが本番です。



富士北地区

富士北地区まちづくり協議会会長北島一郎さんにお話をうかがいました。



富士北地区のまちづくり行動計画は、とてもシンプルでわかりやすい言葉でまとめられています。各団体の総会資料にある理念などを集約しながらまとめていったそうです。部会のみなさんの思いがこもった、「手作り」の感覚が伝わってきます。

計画づくりのなかで、協議会というしくみについて、地区のみなさんに理解を求めたという時の会長独特の「たとえ話」がとても印象的でした。みなさんの地区でも参考にしてみたいかがでしょうか？

まちづくり行動計画から行事を読み解くと...

実施事業 北翔まつりの実施

地区の最も大きな行事の一つである「北翔まつり」には、地区のさまざまな文化活動をしているグループが参加し、交流します。小学生も全員参加します。このような機会を通じて、まちづくり協議会への理解や住民の交流を図っています。



活動方針に沿った事業内容になっているか、もっと充実させるか、または改善することがあるか、を検討しながら事業をすすめていきます。

活動方針

地域の文化や伝統を大切に、**区民の楽しめる文化活動**を実施します。

活動の目標

《文化教育》文徳を向上させ **心豊かになるような取り組み**をします。

キャッチフレーズ

住んでよかった。あたたかい富士北地区

まちづくり行動計画に まとめたことは...

ご自身の地区のまちづくり行動計画の内容を、日頃の活動に結びつけて読んでみてください。

地区の特性・自慢・課題

各地区「らしさ」をあらためて確認しておきました

キャッチフレーズ

地区「らしさ」を生かし、これからの地区をどんなまちにしたいかを表しています。(コブタレポート第4号でご紹介したように、地区によってさまざまなタイプがあります。)

活動の目標

キャッチフレーズのようなまちをつかっていくために、防災や福祉など、分野ごとの目標を掲げています。

活動方針

目標にむかって、どのように進めていくかを整理しています。

実施事業

活動方針に沿って展開していく事業や行事などをあげています。それぞれの活動がどのような方針にもとづいているのか確認しながら、活動していきましょう。

まちづくり協議会でいえば、区長会などのまちづくりの基盤となる団体の役割



基本の行程

飛行機や宿泊は海外旅行になくては成り立たないもの。安心が第一！



どちらも大事。両方備わって「楽しい、思い出深い旅」ができる。

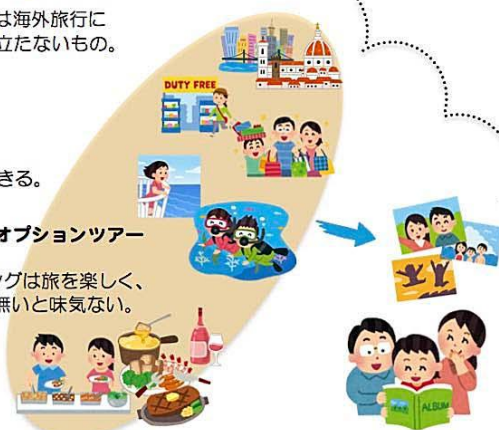
オプションツアー

食事、観光、ショッピングは旅を楽しく、豊かにしてくれるもの。無いと味気ない。

まちづくり協議会でいえば、生涯学習推進会などさまざまな分野の活動

もっとよく、楽しくするために...と地区のために自発的に考え、企画したところにお任せします。もちろん、たいへんな時、困った時は手伝います。

まちづくり協議会を 海外旅行にたとえると...



自然に「わからないように」支え、つながるしくみがまちづくり協議会。そこには「住んでよかった。あたたかい」という言葉に込められた富士北地区の目指すイメージがありました。

